



▲一日図書館員子ども体験(町立図書館)

5歳児健診 発達障がい早期支援

答弁：実施は考えていない

二宮 美津代議員
二宮 小学校入学前に軽度な発達障がいを見つけて、適切な支援ができるよう5歳児健診が取り入れられないか。
健康課長 現在1歳半、3歳児健診で対応ができ



二宮 美津代議員

子ども司書認定制度を答弁：意識づけになれば

二宮 読書の推進リーダー役として、子ども司書の育成、子ども司書

ているので、5歳児の健診実施は考えていない。
二宮 集団生活で気になる子どもの数が増えている現実もある。対応は、町長 単町だけでは無い状況でもあり、いろいろな見直しをしていく。
二宮 司書の仕事を通し、本を読む楽しさを大人にも伝えてほしい。
【その他の質問】
●これまでの一般質問事項の取り扱いについて。



助村 千代子議員

ワクチン 中学生へプレゼント

答弁：費用的に今後検討

助村 子宮頸がんワクチンは10代前半の女兒への接種が効果的。貧富の差で罹患する、しないは悲しい。ワクチン接種プレゼントはできないのか。
町長 希望者を約3000人とし試算。50000

助村 視覚障がいの方のために、公的窓口に活字文書読み上げ装置の設置と音声コード(携帯電話に機能がつく)の活用と職員対象の研修が、国の予算措置でできる。

情報のバリアフリー化 答弁：設置の方向で検討
助村 視覚障がいの方のために、公的窓口に活字文書読み上げ装置の設置と音声コード(携帯電話に機能がつく)の活用と職員対象の研修が、国の予算措置でできる。

積極的に活用すべき。
町長 視覚障がい者の情報の提供に役立つよう設置したい。
職員研修については検討したい。
【その他の質問】
●就労支援機関(無料職業紹介所の設置)の創設
●教育費のかからない町
●母子感染予防HTLV 1抗体検査



▲音声コードの読み上げ装置



▲大的交差点



吉住 龍太郎議員

県道68号線 交通問題の解決は

答弁：道路整備に努力する

吉住 県道68号線は飽和状態である。地下鉄の問題など考えているのか。
町長 町の周辺環境が変わっていく中で非常に交通量がふえた。まず宇美志免線を早期に完成すること、都市計画道路の

整備促進。また、広域の駅にアクセスすること。
吉住 タイヤでレールを走らせる交通システムを提案する。
町長 勉強も進めなければと思う。

が、実施の予定は。
町長 ボタ山の活用については、ボタ山協議会で論議される。
吉住 ボタ山協議会で提案してもらいたい。
また、場外馬券売り場などを併設の公園化は。
町長 ボタ山協議会で論議することであり、ボタ山の開発、利活用は知恵の結集が必要。

利益生むボタ山活用を答弁：知恵の結集が必要
吉住 ボタ山の活用方法で、町長はボタ山のすそ野にパークゴルフ場をとの考えを持ってあった

が、実施の予定は。
町長 ボタ山の活用については、ボタ山協議会で論議される。
吉住 ボタ山協議会で提案してもらいたい。
また、場外馬券売り場などを併設の公園化は。
町長 ボタ山協議会で論議することであり、ボタ山の開発、利活用は知恵の結集が必要。

発達障がい 現場の声を聞くべき

答弁：今後も指導していく

大西 就学前の情報交換はあるが、担任が決つてからの情報交換ができていない。
教育長 配慮が足りなかった。できることはやっていく。



大西 勇議員

大西 連絡帳は保護者との唯一の手段であるが、うまく行われていない学校もある。
連絡帳の重要性の認識は、教育長 校長会等で問題提起していく。
大西 親も常に不安がつている。
町長 相談体制づくりを考えていく。

大西 脳脊髄液減少症の事態 答弁：認識を深め周知を図る
大西 脳脊髄液減少症の事態把握と、不登校にしても本人は、脳脊髄液減少症で苦しんでいる事実もある。
小冊子やDVDを活用し周知を図って欲しい。
教育長 小・中学校で即活用を考えていきたい。
大西 この病気をホームページや広報で住民に周知して欲しい。
町長 ホームページや広報で周知することは可能。



▲小学校で家庭に配布された冊子